

創造性を育む～友達と一緒に探求する姿から～

2019年度
武蔵野東第一・第二幼稚園
年長研究部

今年度の研究のねらい

友達と一緒に探求している具体的な姿を捉え、創造性を育む大切さについてまとめる

研究方法

月ごとに写真を持ち寄り、友達と一緒に探求している姿を共有し、時期ごとの探求に関わる子どもの育ちについて探る

探求する姿 エピソード例

4月 新しい環境で



マクドナルドごっこしよう

教師 新聞紙で帽子を作れるよ



布がほしい

教師 みんなが使える布の置き場を作ろうか



台がほしいな

教師 こんなのはどうかな？

やりたいことを見つけ、「〇〇がほしいな」「こういうのある？」と必要なものをリクエスト。リクエストに合わせて、教師と一緒に準備をしたり、片づけやすいようにしたりしながら、自分たちらしく保育室の環境を整えていった。

自分たちで遊びを楽しく展開していけるように、生活や遊びの場を工夫してつくっていったことが、まさに探求する姿へとつながっていった。

5月 積み木遊びで



もっと遠くに転がそう



ねくね道を転がすには？



ひっかかった...

なんでだろう？

「今度はこうしてみよう」「う～んでもうまく転がらない...」「じゃあこうしてみたら？」とアイデアを出し合ったり、繰り返し試したり。考えていることを形にしなが、遊びをどんどん展開していった。

6月 協同製作で



柱が立たない～

倒れる～！！

こんなふうにすればいい？



そっと離して...

やった！

やった！立った！

柱がうまく立たない...という問題に直面。試行錯誤する中で、タオル掛けの脚をヒントに、柱と床の接地面の広さに着目する。身の回りのものやこれまでの経験をヒントに閃き、試そうとしていた。

10月園まつり製作で



輪ゴムがいいかな？

磁石だとダメか？

クリップの両側から磁石...いいかも！



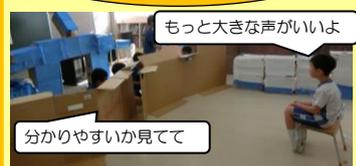
試してみよう！

いい感じ！

もっとこうしてみたら？

ヨーヨー釣りにぴったりの素材はなんだろう？「これだと難しすぎる？」「これだと簡単すぎる？」「こうするとよさそう！」と、イメージが実現できるまで、試行錯誤を続けていた。

11月 ペープサート劇で



もっと大きな声がいいよ

分かりやすいか見てて

一気に話すとぐちゃぐちゃ



順番にしよう

声の大きな助っ人も募集



頭が見えちゃってるよ

壁を抑えながら指示する役割の誕生

「何をやってるのか分からなかった」と言われたことをきっかけに、「どうやったら分かりやすい物語になるのか...」と、友達同士で相談。自分たちが楽しむ劇から、皆が楽しめる劇にしようとしていた。

12月
ピタゴラススイッチ作りで



ピタゴラススイッチ！

作ろう！

どうかな？

いいねえ！



ここ貼って♪

OK!

日々の遊びや、協同製作の中で、友達と一緒に探求することがどんどん楽しくなり、「今度はピタゴラススイッチを作ろう！」と、やってみたいことへ新たにチャレンジ。友達とのつながりが深まり、お互いのよさや得意とすることを認め合うようになり、様々な個性の子もたちが友達と探求していくことを楽しむようになっていく。

まとめ

年長の4月。教師や友達と一緒に、やりたいことを実現するための環境を整えていくことからはじまり、様々な場面で探求することを楽しむようになった。探求の過程にある試行錯誤の面白さは友達にも伝わり、同じ目的をもち、夢中になって探求するようになった。また、やりたいことが実現していく喜びに共感し合うことも、さらなる探求への意欲へとつながっていった。このことから年長児の探求する（創造的な）遊びは、「友達と一緒に」ということが、より探求を面白くしたり深めたりしていることがわかった。上記のエピソードのような経験は、今後、身近な人とともに、それぞれの考えを尊重し合いながら創造的に活動していく土台となっていくと考える。